



厚生労働省 医政局長賞

民間団体部門 優秀賞

「住民が担う地域医療」～仲間と実践してきたこの10年～

(がんばれ雲南病院市民の会、雲南市立病院ボランティアの会)

取組の経緯について

2009年『雲南市立病院経営危機』の新聞報道を契機に、住民有志が自発的に病院支援の活動を開始。「住民にもできる事を」の考えのもと、がんばれ雲南病院市民の会を組織。その後「住民にしかできないことを」と進化し、病院ボランティアを開始。その取組みが加速的に広がり、ボランティアの会の設立。2つの組織は、目的を共有し、分担して進め、相互に手を携えた活動へと進んだ。現在、実践している活動は、住民が担うべき地域医療の一端であり、住民にできる「地域づくり」活動として継続。

事業の概要と特徴

市民の会は、地域医療課題や正しい受診方法手帳など、住民が住民に対し、地域医療の啓発や病院への理解促進など住民が担うべき啓発活動を実施。ボランティアの会は、病院正面玄関での車いす介助や診療費自動支払機のサポート、院内の美化作業や整備、病院行事に参加し、ボランティア活動を実践。共同で住民を対象としたワークショップを実施し、医療の理解促進のほか、赴任医師歓迎会を行い、住民だからこそできる「暖かい」環境づくりを形成。

医療のかかり方を変えていくポイント

- ①キーワードは『住民同士の意識』。お互いに話し合える場を設け医療の理解を深める。
- ②受診の便利手帳を市内全戸配布し、医療資源の重要性と『ルールを守る患者』を醸成。
- ③ボランティア活動は、『住民自身が当然の責務』と考え、病院支援することで病院を知り、医療の重要性を認識する大きな機会となる。
- ④医療を取り巻く環境や地域医療の現状を知り、住民の立場で可能な域医療活動に参加し、『地域づくり活動の一環』として実践。
- ⑤今や地域医療の課題は、地域・家庭へと移り、『地域全体で支える時代』が到来。まちづくりとして、地域医療の当事者として、より多くの住民によって継続的な活動が必要。

市民の会、ボランティアの会【活動概要】 (地域住民による地域医療活動)

がんばれ雲南病院市民の会

- ・研修会
地域住民を対象に開催（看取りなど）
- ・サンキューメッセージ
医療者に感謝の気持ちを伝える
- ・受診の便利手帳（保存版）
市内（約14,000戸）全戸配布
- ・着任医師歓迎会
市立病院へ赴任した医師を歓迎

市立病院ボランティアの会

- ・病院玄関での車いす介助
会員が交代で毎日当番
- ・病院周辺 整備
敷地内の草刈り
芝生、花壇、生垣などの整備
- ・病院内 美化作業
車いす点検整備、網戸の張替、
階段の滑止めや修繕、その他作業
- ・病院行事への参加
病院祭・クリスマスコンサート
避難訓練の患者役

地域医療の啓発や病院の理解を促進

病院ボランティア活動の実践

住民が協働し地域医療を支える

地域医療を核とした、住民主体のまちづくり

